

「愛着と誇りをもてるまち「こしがや」を目指して」 まち・ひと・しごと創生 越谷市総合戦略を策定しました

問 政策課
☎963-9112

少子高齢化の進展に的確に対応し、人口減少に歯止めをかけるとともに、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくために、平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」が制定されました。また、同年12月には、人口の現状と将来の展望を提示する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」、および今後5年間の国の施策の方向を提示する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定されました。

本市においても、人口減少社会に対応し、まちの活性化を図るため、市の人口の現状と将来見通しを示す「越谷市人口ビジョン」、および平成27年度からの5か年の政策目標・施策を示す「越谷市総合戦略」を策定しましたので、その概要についてお知らせします。

1 人口ビジョンから (人口の長期的展望)

(1)人口の現状

①人口構成の推移

本市の平成27年3月末現在の人口は33万4693人です。年少人口(0～14歳)は平成7年(1995年)以降、微減傾向にあり、生産年齢人口(15～64歳)は平成12年(2000年)をピークに減少しています。

一方、高齢者人口(65歳以上)は増加を続け、平成7年(1995年)から平成27年(2015年)の間で、65歳以上は約3.5倍に、75歳以上は約3.8倍に増加しました。

②合計特殊出生率の推移

平成25年(2013年)の本市の合計特殊出生率(1人の女性が生涯に産む子どもの人数)は、1.29で、平成16年(2004年)以降、上昇傾向ですが、県平均1.33、国平均1.43より低く推移しています。

(2)人口の将来見通し

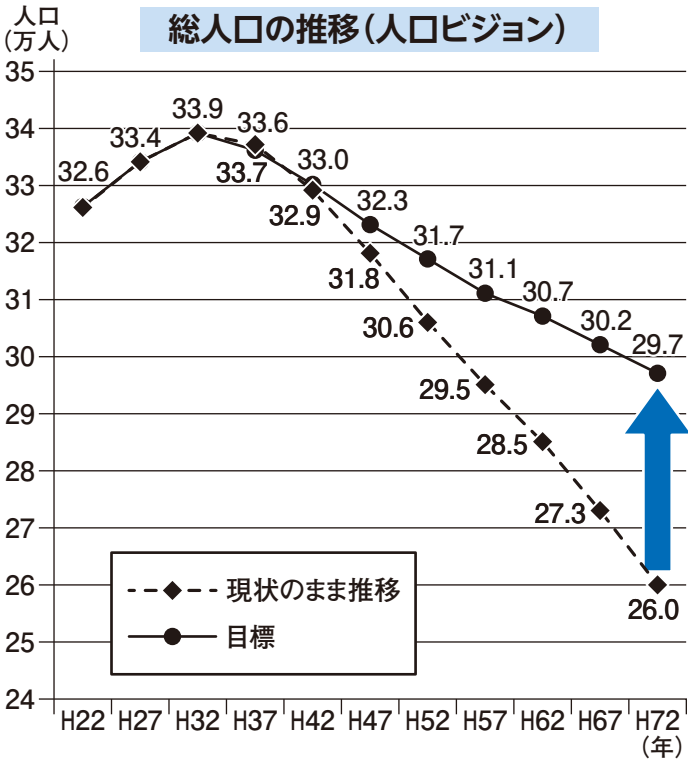
わが国では平成20年(2008年)から人口減少が始まっていますが、本市では、平成33年

(2021年)の34万150人になると予測されています(国立社会保障・人口問題研究所)。をピークに、その後、徐々に減少していく見込みです。

出生・死亡の自然動態では、まもなく自然減に転じ、転入・転出の社会動態では、越谷レイクタウンや西大袋(施行中)などの土地区画整理事業が落ち着いた後には、社会増は期待できなくなると予測されます。

わが国の人口は、現在の出生率のまま推移すると、平成72年(2060年)に8674万人

率のまま推移すると、平成72年(2060年)に8674万人



(3)本市の人口目標

本市の合計特殊出生率が現状の1.29で推移した場合、平成72年(2060年)の人口は26万589人です(グラフ点線)。目標設定にあたり、平成42年(2030年)の本市の合計特殊出生率を約1.6(国は1.8)、平成52年(2040年)を約1.9(国は2.07)、平成62年(2050年)は国と同様の人口維持水準である2.07

2 人口ビジョンから 見えてきた基本的な課題

人口減少、少子高齢化に対応し、人口ビジョンの目標を実現するために、次のような課題に取り組み必要があります。

(1)生産年齢人口減少に対応した、潜在的な人材の活用と地域産業の活性化を推進するまちづくり

↓基本目標1で対応

労働力の中心となる生産年齢人口が減少していく中、地域が活力を失うことなく持続的に発展し続けるためには、地域産業を活性化し、地域に雇用と経済価値をもたらすことが重要です。潜在的な人材を活用することや市内に働く場を増やすことで、職住近接の環境を形成していくことが求められています。

(2)地域資源を生かした、新たな都市型観光を進めるまちづくり

↓基本目標2で対応

豊かな水辺空間や郊外に広がる田園風景や自然景観、さらには歴史・伝統・文化・エンターテインメントなどの地域資源に光をあて、本市の魅力を生かした新たな都市型観光を進めてい

に達するものと想定しました(グラフ実線)。

この推計の結果、平成72年(2060年)の本市人口は29万7231人となりますので、次のとおり目標を設定しました。

約29万7000人を
本市の人口維持の
目標とします。

くことが求められています。
(3)若者が結婚し、子育てしやすいまちづくり

↓基本目標3で対応

近年、未婚・晩婚化が進んでいることが、少子化の原因として挙げられています。本市では結婚した家庭の多くが子どもを産んでいることから、結婚しやすいような環境を整えることや子どもを育てやすい環境を整えていくことが求められています。

(4)安全で安心に、豊かさを実感できるまちづくり

↓基本目標4で対応

本市は、首都近郊で交通の便がよく、自然も豊かであるため、定住意向は高い状況です。今後は、高齢化の進行や近年増加している自然災害等に対応するため、地域コミュニティを中心として、より一層、安全、安心、快適に住み続けられる環境づくりが求められています。

3 総合戦略における 4つの基本目標と施策

「総合戦略」では、前述した4つの課題を解決するため、今後5年間の戦略として、次の4つの基本目標と、各基本目標における具体的施策を定めています。

基本目標1 安定した雇用を創出し、農業・工業・商業の均衡のとれた職住近接のまちをつくる

首都近郊という地理的優位性を生かし、農業・商工業の活性化を図るとともに、新たな雇用を創出し、にぎわいと活力のある職住近接のまちを目指します。

基本目標2 越谷の魅力を全国に発信し、人を呼び込む

新たな観光資源の発掘・活用を進め、観光産業の振興を図るとともに、まちの魅力を効果的に発信することで交流人口の増加を目指します。

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

若い人の結婚・出産の希望をかなえるために、結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を行い、ずっと住み続けたいと思っまちを目指します。

基本目標4 安全、安心、快適に住める地域をつくる

誰もが、安全、安心、快適に住める『安心度No.1のこしがや』をつくるため、①効率的で適正な公共施設等の維持管理

②医療・保健・福祉サービスの充実 ③防災力・防犯力の強化などの実現を目指します。

基本目標1 安定した雇用を創出し、農業・工業・商業の均衡のとれた職住近接のまちをつくる

首都近郊という地理的優位性を生かし、農業・商工業の活性化を図るとともに、新たな雇用を創出し、にぎわいと活力のある職住近接のまちを目指します。

基本目標2 越谷の魅力を全国に発信し、人を呼び込む

新たな観光資源の発掘・活用を進め、観光産業の振興を図るとともに、まちの魅力を効果的に発信することで交流人口の増加を目指します。

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

若い人の結婚・出産の希望をかなえるために、結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を行い、ずっと住み続けたいと思っまちを目指します。

基本目標4 安全、安心、快適に住める地域をつくる

誰もが、安全、安心、快適に住める『安心度No.1のこしがや』をつくるため、①効率的で適正な公共施設等の維持管理

②医療・保健・福祉サービスの充実 ③防災力・防犯力の強化などの実現を目指します。

基本目標1 安定した雇用を創出し、農業・工業・商業の均衡のとれた職住近接のまちをつくる

首都近郊という地理的優位性を生かし、農業・商工業の活性化を図るとともに、新たな雇用を創出し、にぎわいと活力のある職住近接のまちを目指します。

基本目標2 越谷の魅力を全国に発信し、人を呼び込む

新たな観光資源の発掘・活用を進め、観光産業の振興を図るとともに、まちの魅力を効果的に発信することで交流人口の増加を目指します。

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

若い人の結婚・出産の希望をかなえるために、結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を行い、ずっと住み続けたいと思っまちを目指します。

基本目標4 安全、安心、快適に住める地域をつくる

誰もが、安全、安心、快適に住める『安心度No.1のこしがや』をつくるため、①効率的で適正な公共施設等の維持管理

②医療・保健・福祉サービスの充実 ③防災力・防犯力の強化などの実現を目指します。

基本目標1 安定した雇用を創出し、農業・工業・商業の均衡のとれた職住近接のまちをつくる

首都近郊という地理的優位性を生かし、農業・商工業の活性化を図るとともに、新たな雇用を創出し、にぎわいと活力のある職住近接のまちを目指します。

基本目標2 越谷の魅力を全国に発信し、人を呼び込む

新たな観光資源の発掘・活用を進め、観光産業の振興を図るとともに、まちの魅力を効果的に発信することで交流人口の増加を目指します。

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

若い人の結婚・出産の希望をかなえるために、結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を行い、ずっと住み続けたいと思っまちを目指します。

基本目標4 安全、安心、快適に住める地域をつくる

誰もが、安全、安心、快適に住める『安心度No.1のこしがや』をつくるため、①効率的で適正な公共施設等の維持管理

②医療・保健・福祉サービスの充実 ③防災力・防犯力の強化などの実現を目指します。

基本目標1 安定した雇用を創出し、農業・工業・商業の均衡のとれた職住近接のまちをつくる

首都近郊という地理的優位性を生かし、農業・商工業の活性化を図るとともに、新たな雇用を創出し、にぎわいと活力のある職住近接のまちを目指します。

基本目標2 越谷の魅力を全国に発信し、人を呼び込む

新たな観光資源の発掘・活用を進め、観光産業の振興を図るとともに、まちの魅力を効果的に発信することで交流人口の増加を目指します。

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

若い人の結婚・出産の希望をかなえるために、結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を行い、ずっと住み続けたいと思っまちを目指します。

基本目標4 安全、安心、快適に住める地域をつくる

誰もが、安全、安心、快適に住める『安心度No.1のこしがや』をつくるため、①効率的で適正な公共施設等の維持管理